

アイリンクス

ラジオ通販で企業連合

「共同利用」でスケールメリット発揮

健康食品通販を展開するアイリンクス(本社・福岡市博多区、石井和俊社長)が、これまで自社で展開してきたラジオ通販のノウハウを活かし、ラジオ通販の「共同仕入れ・共同利用」を行う企業連合の構築を目指している。対象とするのは、売上高10億円前後までの新興事業者。すでに5社が参加の意向を示している。今後も放送局と参加

企業の拡大を図っていく考え。連携を図り、媒体コストの引き下げなど相乗効果の創出を図る。共同企画は、商品をアイリンクスが仕入れ、ラジオパーソナリティとのオリジナルセッションは各企業が個別に行う仕組み。広告代理業への参入は視野に入れておらず、ラジオ通販のみで同業他社と共同企画を展開していく。

共同企画を模索するのは、ラジオ通販を巡る特有の事情があるため。ラジオの「生コマmercial」の媒体価格の相場は10万円前後。放送回数や期間の継続により1回あたり100万の媒体コストを交渉するのが一般的だ。だが、新たにラジオ通販に参入し、数回のテスト検証を予定する事業者の場合コストが高く、目標とするCPOが得られないケースも少なくない。古くから展開する事業者と新規事業者の間には、媒体コストに大きな価格差が存在するとし、「新規参入企業が育たない大きな要因になっている(同社)という。

アイリンクスでは、企業連合を構築することで、こうした課題の解消を目指す。同社は、昨年8月からラジオの「生コマmercial」を開始。今年1月までに全国で月80本前後展開するまでに規模を拡大している。そのため比較的安価に放送枠を獲得できており、事業者間の商品が競合しない範囲で企業連合を組むことで放送規模を拡大。これにより、スケールメリットを出していく。企業連合を組む会社に対し、自社のラジオ通販の実績や新規獲得、リピート施策も積極的に公開していく方針。要望に応じてノウハウの共有を進め、

「中小事業者が共同で成長を目指す形にしたい」という。

アイリンクスは、通販サイト「ふくふく本舗」を運営。ラジオでは、苦瓜のエキスを配合した主力の健康「ニガウリ508ゴールド」を展開している。



「利便性」にこだわり、長期的な思考を重視していることを説明。具体的な事例として「カスターマレビュー」機能を挙げ、「立っても載せると」振りの短期的に減少の要因性もあつた視点から願得る道を選

クローズアップ close up

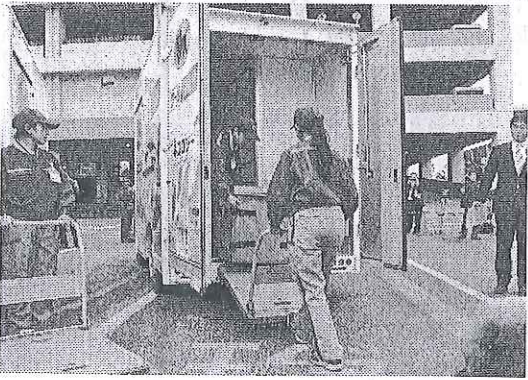
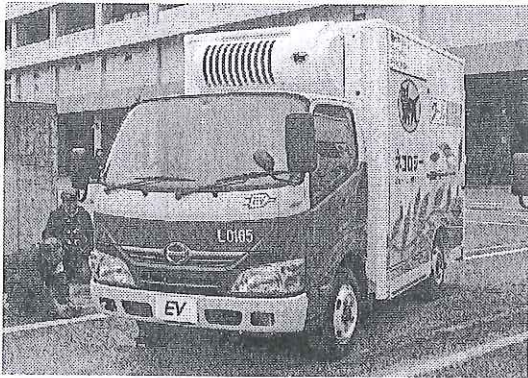
スの提供など、顧客サービス向上の観点から、通販事業者も注目すべきものと言えそうだ。

今回の実証実験で使用するのは、日野自動車が開発した1ト積み超低床EVTトラックをベースにヤマト、日野、トヨタ3社の共同企画仕様の冷凍冷蔵パンを架装したものの。動力周りは、容量28kWhのリチウムイオンバッテリー、最高出力70kW、最大トルク280Nmのモーターを採用し、床化していること。特に

ヤマト運輸(本社・東京都中央区、山内雅喜社長)は3月1日、日野自動車(同・東京都日野市、白井芳夫社長)およびトヨタ自動車(愛知県豊田市、豊田章男社長)と連携し、3月中旬から約1年間をかけて電動(EV)小型トラックをテリーの充電

て実施。都市部で1日20〜30kmの走行を想定し、四季を通じての消費電力やバッテリー性能、「宅急便」集配業務におけるEVTトラックの使い勝手などを評価する。

超低床とすることで荷物の積み替えをスムーズに



と呼ばれる数

多方面に荷物を届けるため、より効率的かつスピーディーに配達できるのが特徴だ。「チーム集配」については、すでに全国約500カ所を実施しているが、床の高い従来トラックでは、個々の荷物を台車に移し変えなければならぬという課題があった。これに対し超低床のEVTトラックでは、予め仕分けをしてボックスに入れた荷物を台車に直接移し変えることが可能で、作業の効率化や女性ドライバーの負担軽減が期待されている。

社会福祉 データ分析

データベ

インク事業